

科目名		授業形態	担当教員名	
解剖学 I		講義	小形 晶子	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
60 時間 ( 2 単位)		30 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
解剖学は人体の形と構造を研究する学問である。作業療法士にとって、骨や筋、神経など、運動に関する臓器は特に重要であるが、同時に人体全体の構造についても十分な知識を持つ必要がある。この科目では、人体全体の構造についての概論と運動に特に関連の深い筋骨格系、循環、呼吸器系について取り扱う。人体全体の構造および筋骨格系や循環、呼吸器系が生体の中でどのような機能を持っているかを理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 人体を構成する器官系の名称やその機能を説明できる。 2. 骨格の位置や構造、作用を説明できる。 3. 人体の各関節の特性や主要な骨格筋について説明できる。 4. 体循環と肺循環について説明できる。 5. 心臓の構造と機能について説明できる。 6. 全身の動脈系やリンパ系について説明できる。 7. ガス交換に関与する肺と、発声に関与する喉頭について説明できる				
授業計画				
回	内容			
1	人体の構造	16	下肢帯および下肢の筋	
2	細胞の構造	17	体表解剖学 I (体幹、上肢)	
3	上皮組織	18	体幹解剖学 II (下肢)	
4	結合組織	19	血液 I (血液の組成)	
5	骨・軟骨組織	20	血液 II (細胞成分)	
6	筋組織	21	血管の構造	
7	神経組織	22	心臓	
8	関節の種類と構造、支持組織	23	肺循環	
9	頭頸部の骨格	24	全身の動脈 I (大動脈)	
10	頭頸部の筋	25	全身の動脈 II (末梢の動脈)	
11	体幹の骨格	26	全身の静脈	
12	体幹の筋	27	リンパ、リンパ管	
13	上肢帯および上肢の骨格	28	リンパ性器官	
14	上肢帯および上肢の筋	29	呼吸器 I (鼻腔、咽頭、喉頭)	
15	下肢帯および下肢の骨格	30	呼吸器 II (気管支、肺)	
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	90%			
レポート・課題				
小テスト	10%			
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
からだが見える 人体の構造と機能	医療情報科学研究所		メディックメディア	
実習にも役立つ人体の構造と体表解剖 第2版	三木明德		金芳堂	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				